

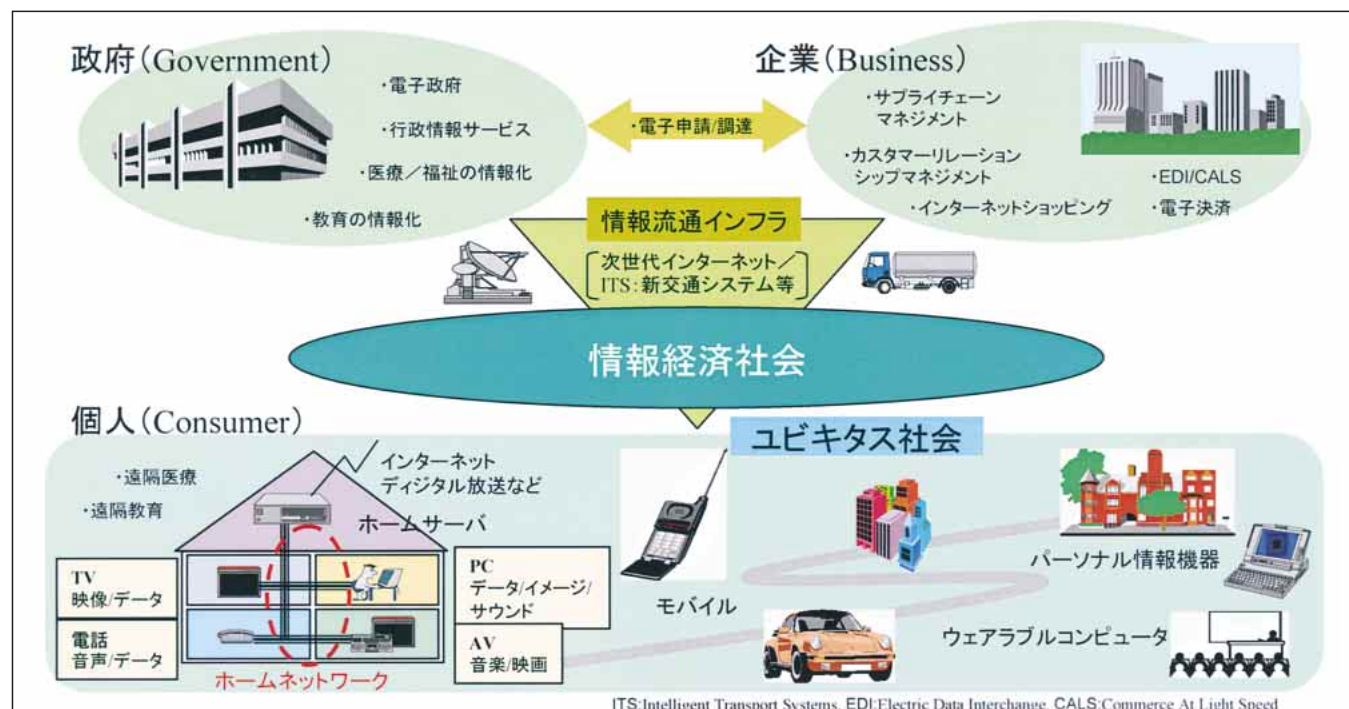


図1. 21世紀の情報経済社会を支える情報システム

コンピューティングスタイルは、各メーカー独自のアーキテクチャによる汎用大型機中心の時代に始まり、クライアントサーバシステム、インターネットを活用したシステム、さらにはソリューション/情報サービス提供を主眼とした情報システムへと変貌をとげている。

このようなコンピュータ変遷の歴史において、当社の開発成果を振り返るとともに、21世紀のインターネットを軸とした情報経済社会実現に向け、情報システムを展望する。

1. 当社コンピュータ製品の歴史

当社のコンピュータの歴史は1960年の科学技術計算を主目的としたコンピュータMELCOM 1101の完成に始まる。これ以降、図2に示すように、コンピュータ製品、システムを開発し提供してきた。以下に当社の主要な取組状況を示す。

(1) コンピュータの草創期において、先進的な大規模システムを基幹産業に向け開発してきた。世界最初の試みである貨車操車場自動化システムを郡山操車場に納入し、1968年10月に我が国最初のヤード自動化システムが開業した。1966年には、国内で初めての企画で

ある相模川水系管理システムを納入した。その他、鉄鋼会社の圧延システム、電力系統制御システム、発電所監視制御システムなどの特色あるコンピュータシステムを開発し、納入した。

(2) 会計機の機能とコンピュータとを有機的に結合した画期的な小型コンピュータとして、国内で初めて「オフコン

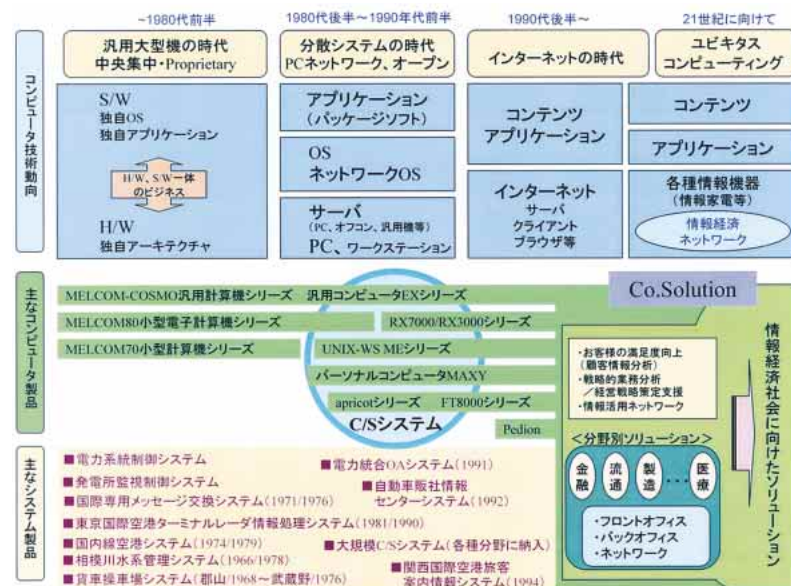


図2. コンピュータ技術動向と当社の製品

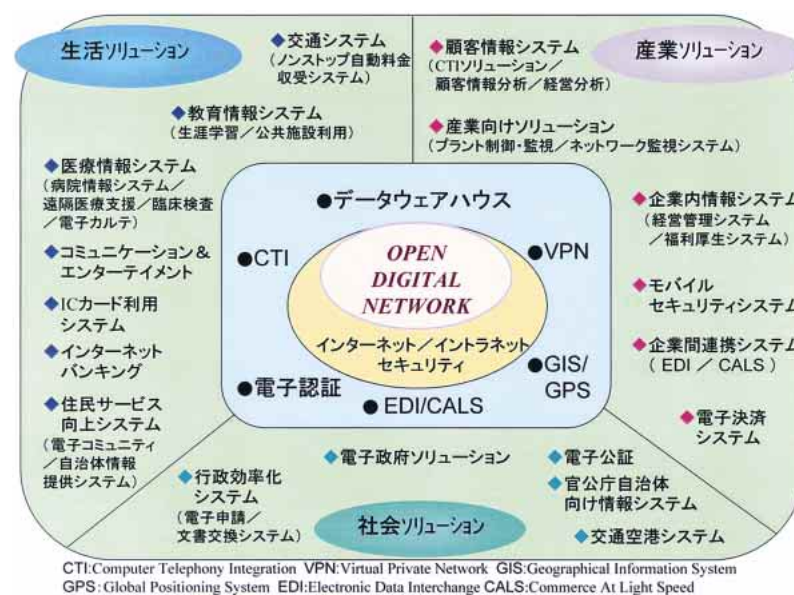


図3. Co.Solutionが提供するOpen Digital Network

（オフィスコンピュータ）」という名称を用い、MELCOM 81/82を1968年に発売した。その後MELCOM 80シリーズは性能向上・機能強化を続け、オフコン国内トップシェアを達成し、日本特有のオフコン市場を定着させた。このオフコン技術は、現在のソリューションサーバに継承されている。

(3) 高信頼性を要求される工業用計算機分野では、通信、制御、監視等のリアルタイムコンピューティング分野で高い評価を得た。

(4) 集中処理から分散処理への移行に際しては、いち早くクライアントサーバシステムを製品化した。PCサーバFT8000シリーズでは、世界初の8CPUマルチプロセッサモデルを開発（1996年）した。

(5) 当社独自技術を生かしたリレーショナルデータベースプロセッサGREX（1989年）の技術をデータベースプロセッサDIAPRISM（1997年）へ引継ぎ、100万件の集計・検索を2秒で実現する超高速データウェアハウス技術の中核として位置付けている。

(6) パソコンでは業界初の16ビットパソコン Multi16を発売（1981年）し、1997年にはA4ノートパソコンで世界最薄型18mmを実現したPedionを発売した。

2. 21世紀に向けた情報システムの変革

2.1 当社の情報システムソリューション

インターネットの世界的な普及、規制緩和、ビッグバン

等により、企業活動は企業間連携・グローバル化が進み、競争優位に立つための情報システムが求められている。

当社は、インターネットを中心とした経営基盤強化のためのフレームワークとして、「情報システムソリューションCo.Solution」を提供している。

Co.Solutionは、顧客ニーズの変化、バリューチェーンの変革に迅速かつ柔軟にこたえていくために、個々のお客様の情報を的確に把握・分析し、市場ニーズを先取りして最適な情報システムを構築するためのフレームワークであり、図3に示す社会、産業、生活の各分野におけるソリューションを提供している。

2.2 情報経済社会実現に向けた取組

21世紀に向けてインターネットがさらに普及（米国商務省の予測では2005年にはインターネット普及10億人）し、従来の整然と築かれた商流、物流、金流の流れが崩壊し、時間・空間（場所、距離）・形態の制約を越えた「自由な選択」によるビジネス活動が加速され、以下に示す社会環境の変革がもたらされようとしている。

- 電子政府の実現、ワンストップサービスの充実
- 家庭のデジタル情報革命の進展
- 次世代移動体通信システムによる移動体端末の高性能・高機能化と各種サービスの充実
- 生活に密着した情報サービスの高度化とメニューの充実

このような社会環境においては、情報システムでなく情報そのものに価値が置かれ、情報の流れを中心に展開していく情報経済社会が到来する。図1に示すように、この情報経済社会は、高速インターネットの通信インフラ、新交通システム・EC・医療・行政システムなどの社会生活インフラで支えられ、そのインフラの上で円滑な情報流通を実現するための、「いつでも、どこからでも、だれでもが、時間や場所の制約を越えて情報を活用できる」社会、いわゆる「ユビキタス社会」が実現される。

21世紀に到来する情報経済社会実現に向け、Co.Solutionを情報経済社会のソリューションフレームワークとして発展させ、社会・産業・生活の各分野にわたって、ソリューションを提供していく考えである。